２年に一度の婦人の集い

おばちゃんパワーがさく裂する

第９回全国業者婦人決起集会

１０月４日、北は北海道南は沖縄まで全国津々浦々から２，０００人余りの業者婦人達が日比谷公会堂に集結しました。会場はおそろいのハッピや帽子、小物など工夫を凝らした色とりどりの衣装に身を包んだご婦人であふれ、広い会場が狭く感じるほどでした。

総選挙も終わり自民党圧勝の中での集会は２年前の前回の時よりも憲法・税金・福祉・営業とくらしどれをとっても悪い方向にしか進んでいないのではないかという危惧があり、緊張感が漂っているように感じました。ここで黙って手をこまねいていては負けになってしまいます。「平和でこそ商売繁盛」憲法９条を守り、安心して働いてくらせる社会を築くために業者婦人達が奮起しました。行田民商婦人部もみんなで協力して集めた署名を手に１１名が代表し参加しました。

衆・参議員会館はおばちゃんだらけ。
～全国会議員要請行動～

午前中は全国会議員要請を行いました。全国会議員と言うのですから、自民・公明・民主その他全ての国会議員に対して、所得税法５６条の廃止や、女性起業家、家族従事者への支援を求めた要望書を手渡してきました。とは言っても、私が担当した議員さんは４人の議員さんには１人も会えず、代理の方が受け取りました。しかし、自民党のお一方は要望書を受け取ってもらえないばかりか、露骨にいやな顔をされ、迷惑だと言われました。「１年生議員だから受け取れない。」と拒否をされましたが、新人ならなおさら受け取って勉強しろと思ってしまいました。

議員会館の長い廊下には要望書を手にしたおばちゃんが、闊歩していました。

見てください。

行田民商婦人部では、この集会に合わせて横断幕を作りました。
羽生の会員で「小林繊維」さんに無理いって、短期間で作って頂きました。ありがとうございました。
この横断幕はこれからの婦人部の活動で大切に使って行きます。

築地での海鮮ランチは美味しかったそうです。
ちなみに議員会館の食堂でのBランチはまずかった…（涙）

行政のふがいなさに怒り、
病気に負けず働く姿に涙がぽろり…
～まだまだがんばれる勇気をもらった決起集会～

午後は日比谷公会堂での決起集会です。この集会では各地で頑張っている仲間達の生の声を聞くことが出来ます。

「病気になり多額の医療費が払えず、市役所との交渉の末、医療費全額免除を受けることが出来た。病気で体はしんどいけれど、生きている限り好きな商売を夫婦で続けていきたい。」との報告では同じ年代同じ境遇だった自分と重ね合わせて、胸が熱くなり涙が出ました。

「新潟県中越地震では想像を絶する仮設住宅でのくらし、老人施設に預けている年老いた母も、仮設住宅も後１年で追い出されてしまう。これからどうすればいいのか途方にくれています。国は何も支援してくれません。」と涙を浮かべての発言には、行政の対応の悪さには怒りが込み上げてきます。

私達は商売がしたい。親会社からは単価を下げられ消費税は値切られ、蓄えを取り崩し、生命保険を解約してやっと税金を払ってきた。それなのに税率が１０％になったらもう商売は続けられない。負けてたまるかと怒りを胸に、２，０００人のおばちゃんは日比谷～国会までの１．５㎞の道のりを「増税反対～！」「憲法９条を守れ！」「国保料をさげろ！」と怒りのシュプレヒコールを上げてきました。

今回代表して参加した１１名の内６名が、決起集会初参加でした。初めての方もそうでない方も、「みんな苦しいけれど頑張っている。自分も、もっと頑張ってみようと思った。」「たくさんの人が集まってすごいなと思った。いつまでも忘れずにいたい。」「女性のたくましさを感じた。」「いつ参加しても女性は強いと思う、負けないようにこれからもどんどんやりますよ。」「また、参加したいです。」と感想を頂きました。

雨が心配された１日でしたが、朝８時から夜は６時まで、参加した皆様お疲れ様でした。

また、２年後も頑張りましょう。

婦　人　部　便　り